

# 飛驒法人会だより

No.239  
2025

令和7年4月20日 第239号 発行所 高山市花里町3 (公社)飛驒法人会 発行人 洲岬孝雄/編集人 住 宏夫

ウェブサイト <https://hida-hojinkai.com/> TEL 0577-34-2201  
メールアドレス [hidahojn@siren.ocn.ne.jp](mailto:hidahojn@siren.ocn.ne.jp) FAX 0577-33-1093

春

## 目次



- 「高山での経験」……高山税務署長 大野 正寿 …………… 2～7
- 税務署からのお知らせ …………… 8～9  
・還付金の振込通知がe-Taxで受け取れます!! ・還付金の振込通知をe-Taxで受け取る方法
- (公社)飛驒法人会 令和6年度 第3回理事会 …………… 10～11
- 令和6年度 岐阜県下法人会運営研究会・第79回 東海法人会連合会大会 …… 12
- 法人会 自主点検チェックシートを活用していますか? …………… 13
- 休憩室…………「日本百名山に登る」…………… 14～15
- 事業所訪問…… 株式会社 下呂観光ホテル しょうげつ …………… 16～17
- とんなんしいべい(支部短編ニュース) …………… 18～19
- 青年部会だより …………… 20
- 女性部会だより …………… 21
- 読者の窓 …………… 23
- (公社)飛驒法人会定時総会のご案内・編集後記…………… 24



— 第22回 粟宮祭 — 高山陣屋周辺



## ～ 高山での経験 ～

高山税務署長 大野 正寿

昨年7月の高山署への赴任から、あっという間に9か月が経過しました。

その間、飛騨法人会の皆様には、平素より税務行政に深いご理解と格別のご協力を賜っているほか、社会貢献活動を始めとする種々の活動を通じて、申告納税制度の発展やキャッシュレス納付の普及にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

また、洲岬会長をはじめ役員の皆様、会員の皆様には、いつも温かく接していただき感謝申し上げます。

さて、今回、「飛騨法人会だより」に寄稿させていただくということで、どのような内容にしようかといろいろ考えたのですが、高山での生活を振り返りまして、経験した中で感動したことなどを中心につらつらと述べさせていただこうと思います。

ただ、文才がないことは自覚しているところでありますので、読みづらいところがあるかと思いますが、お許しいただきながら、お付き合いいただけたら幸いです。

### 【歴代署長】

高山税務署は、合同庁舎に移転してから5年目を迎えています。建物の外観も内観もまだまだ新しいので、7月11日に着任した時には、「快適な執務環境だなあ」と感動したのを今でも、覚えています。

署長室の事務机に向かうと、目の前には、歴代税務署長のプレートがあり、歴代の先輩方の名前を見て、身が引き締まる思いが込み上げてきました。

高山税務署は、明治29年11月に税務管理局と税務署が創設された当時から、税務署の名称

と管轄が変わらない全国的にも希少な税務署ということもあり、私は、第87代の署長となっています。

歴代税務署長のプレートは、1列に35名分が配置されていますので、私のプレートは3段目の真ん中あたりにありますが、他のプレートと比較しますと、異様に白っぽいのが気になっていました。着任当時は、「まだ作成したばかりなので、時間が経てば日にも焼けて目立たなくなる。」とか「今はまだまだ未熟だから他のプレートよりも白いのかな。」などと思っておりましたが、9か月経過した現在でも7月から変わっていないのと、何なら、文字が薄墨のようにも見えるのが、更に気になるころではありますが、異動するまでの間、歴代署長に恥じることはないように、しっかりと職務に精励したいと思います。

### 【高山税務署管内】

私が高山署に勤務させていただいている、令和6年(2024年)から令和7年(2025年)は、色々区切りが良い年なのだなぁと感じています。

まず、令和6年(2024年)は、飛騨国高山藩初代藩主の金森長近の生誕500年の年に当たりますし、高山本線全線開通90年ということ です。

また、令和7年(2025年)は、昭和100年問題というコンピューターシステムの年問題の一つとし



歴代署長名のプレート

て2000年問題と同様に話題になりましたが、昭和が続いていたとすれば昭和100年の区切りの良い年になりますし、平成17年(2005年)の市町村合併から20年という年になります。

この市町村合併により、高山税務署の管内は、1市8町11村から3市1村になり、高山市は、全国で一番大きな面積を持つ市町村となったのは、皆様もご承知のとおりです。

なお、高山税務署の管内の面積は、岐阜県の約4割を占め、本州では一番の広さとなります。

私は、第236号の飛騨法人会だよりで、「管内は、『豊かな自然』、『格式高い伝統と文化』、『美味しい食べ物とお酒』という印象で、古い町並みの散策や山歩き、温泉、ウインタースポーツのほか、高山祭や古川祭など、2度目の单身生活を楽しみたい。」とお話させていただきました。

私は職員に対して、「管内のことをよく知るように」と機会あることに言っておりましたので、自分自身も、赴任直後から、本州一広い管内を自分の足で回って、実際に目で見て感じようと決めました。

ということで、まずは道路地図を購入し、行ったところにはマーカーすることにしました。

### 【町歩き】

7月の中頃までは雨が多かった記憶ですが、できる限り早朝に1時間程度、高山市内の中心部



飛騨国分寺

をウォーキングすることにしました。

初めの頃は、古い町並み、神社、城跡など毎日コースを変えては、行った場所を地図に表示しました。

高山市内を歩いていると、2つのことが印象に残りました。

まず1つ目は、さすがに観光地ということで、公衆トイレが多

いことに気が付きました。ウォーキング中や町歩きなどの際に使わせてもらったトイレはどこも大変きれいで、掃除等が行き届いているなあと感心しています。

2つ目は、電柱等に表示してある住所の表示です。地名には、「〇〇町」か「〇〇町●(数字)」となっているので、「〇〇町」と付かない地名はないのか調べました。すると、旧高山市では「城山」を除いては、すべて「〇〇町」か「〇〇町●(数字)」という地名ということで、すべてに「町」が入っていること分かりました。そして、その読み方は、「〇〇ちょう」ではなくすべて「〇〇まち」となっているので、これまた大変珍しいと感じて色々調べてはみましたが、何故だか分かりません。

私なりの仮説では、高山が「城下町」であったことや「古い町並み」などが関係しているのかなと考えていますが、今でも結論には至っておりませんので、ご存知の方がお見えでしたら、ご教授いただきたいと思います。

また、9か月間の町歩きで感動したことも2つあります。

まず1つ目は、7月末の早朝と夕方に、ダブルレインボーを見ることができたことです。



古い町並



ダブルレインボー(万人橋)



中橋

このことを飛騨法人会の会合のあいさつなどでお話したところ、洲岬会長も同じ日の同じ時間帯にダブルレインボーを見られていて、スマホに保存してあるのを見せていただいた時には、2度感動しました。

2つ目は、雪が降った早朝の古い町並みをはじめ中橋や陣屋や国分寺の景色です。

真っ白な雪の中に淡い光の電灯が揺らめく景色は感無量で、特に早朝は誰もいないので、古い町並みなどの雪景色を独り占めできたことはこの上ない幸せなことでした。

### 【山歩き】

高山市は、周りを山で囲われていることから、山歩きにも行きたいと思っていましたので、極力、帰省せずに土曜日の早朝に出かけていました。特に乗鞍岳には絶対行きたいと思っていました。

初めのうちは、宿舎から近いということで、「松倉山・原山」、「位山」に行きましたが、登り始めは雨が降っていないのに途中から降ってくるのが続きまして、頂上に行っても綺麗な景色が見えないのが残念でした。

山歩きの話をしていたところ「乗鞍岳」に行きたいという職員がいたので、9月に職員5人で行きまし



乗鞍岳(剣ヶ峰)にて

たが、その日も天候が悪く、雨風が強かったので、ずぶ濡れになりましたが、頂上(剣ヶ峰)に行っても何も見えず残念でした。

高山に来て初めて、自分は「雨男」なのかなあと思いました。

頂上まで登って天気が良かったのは、飛騨市神岡町の天蓋山と下呂市乗政の白草山です。天蓋山には、天空の牧場「山之村牧場」から登り始めたのですが、そこにたどり着くまでの道中では猿の親子の群れと何度か遭遇しました。頂上からは、乗鞍岳～穂高岳～立山～富山湾を望むことができ、絶景でした。また、白草山の頂上からは、乗鞍岳～御嶽山を望むことができました。他の山からは、乗鞍岳を拝むことができたので、5月以降の天気が良い日にリベンジしたいと思っています。

山歩きをして感動したのは、新穂高ロープウェイの西穂高口駅の「頂の森」からと飛騨市古川町の「安峰山」から見た雲海です。新穂高ロープウェイは昨年リニューアルしたので、単身生活以降、妻が初めて高山に来た際に行きました。新穂高ロープウェイしらかば平駅に着いた時には酷い霧でしたので、ロープウェイに乗るのを一瞬ためらいましたが、山頂に到着すると天候が全く違って青空が見え、下界は雲海で充満していました。

今後も、悩んだら、「見逃し三振」よりも「空振り三振」の精神を貫きたいと思います。



新穂高の「頂の森」から見た雲海

### 【滝めぐり】

管内は、山が多いということで、それに伴い滝も多くあります。中でも、「小坂の滝めぐり」は有名



根尾の滝

ですが、山歩きなどを優先させていたので、数か所しか行けていません。

令和2年7月の豪雨で遊歩道や吊り橋が崩壊した「根尾の滝」ですが、昨年11月に復興プロジェクトにより完成したとのニュースを見たので、日本の滝100選にも選ばれている、落差63メートルの名瀑に

は行ってきました。

また、下呂方面では、白草山を登った帰りに、車がすれ違えないほど狭い道を進んで、落差21メートルの「乗政大滝」に行きました。

あと、管内で滝と言えば、高山市国府町の「宇津江四十八滝」も有名で、宿舎からも近いので、7月の暑い時期に行って、マイナスイオンを浴びてきました。

情報誌を見ていたところ、飛騨地方に来たなら見ておくべき滝として、白川村平瀬の「白水の滝」が紹介されていたので、落差72メートルの絶壁を下る滝を展望台から見てきましたが、国道156号から左折した道は、車1台がすれ違えない酷道を数十キロ進み、やっと展望台にたどり着きました。

展望台から「白水の滝」まではかなり距離はあるものの名瀑の迫力は凄かったのが思い出されます。

### 【地図と酷道】

1回目の単身生活の時も暇を持て余していたので、関東地方の地図を買って、東京都内等の位置関係を眺めていたところ、「神田川」が目にとまりました。上流へさかのぼってみると、井の頭恩賜公園にある井の頭池で止まっていたので、調べてみると、「神田川」の水源は「井の頭池」ということが分かりました。これをきっかけに、水源から最終まで歩いてみようということで、まず、井

の頭池から最終の墨田川まで歩こうと思いました。総距離は、約24kmありましたが、無事歩き切ったので、それ以降は、神田川流域を中心に幾つもの河川沿いを歩きました。

地図を見ている時は、何となくこんな感じかなと思っていても、さすがに都会は川が途中で暗渠になっていたりする所や、川沿いの歩道が無くなってしまったりしたので川はどのように流れているのか、道はどのように続いているのかを想像して、川を探しながら歩いていました。

やはり何事も実際に現地に行って、見たり、経験しないと分からないことが多いです。

高山に来てからは、山や滝などに出かけていくことも多かったので、酷道に遭遇することもあります。地図のこの色の道は以前にも通ったことがあるから、この道も通行可能かなと思いながら、車を走らせるのですが、一番大変だったのは、丹生川ダムから上宝町に続く県道89号線でした。道が細いのは承知の上でしたが、道の両側には大きな木が生い茂り、昼間に走っているのに暗くて、自動車のフロントライトが自動で点灯していたのは衝撃でした。まさに、地図を見ているだけでは分からない光景でした。

というような生活を続けているうちに、管内の高山市、飛騨市、下呂市、白川村の主要な道路はマーカーで塗りつぶすことができました。

### 【高山祭】

高山に赴任して「感動」したことといえば、やはり、「高山祭」です。

「高山祭」は知っているものの、近年は、特に



秋の高山祭 屋台



秋の高山祭 宵祭

外国人観光客を中心に多くの観光客の方が訪れることになるので、これまでの「高山祭」は、自宅からテレビなどで見るものだと決めていました。

それが、令和6年7月に高山署へ赴任したことで、実際に自分の目で見ることができました。

赴任後、ある方は、「令和6年の高山でのお祭りは、春の高山祭からすべて晴れているので秋の高山祭も晴れて欲しい。」とおっしゃっていました。

秋の高山祭当日の朝は、少し雨が降っていましたが天気予報では「晴れ」予報でしたので、屋台の曳き揃え時間は後ろ倒しになったものの、桜山八幡宮の表参道に曳き揃えられた全ての屋台は、飾り金具などが太陽に照らされて、キラキラ輝き、それは見事で豪華絢爛な姿は壮観で、鳥肌を立てながら見ていました。

また、夕方から始まる「宵祭」では、各屋台に提灯が飾られ、ゆらゆら揺れる明かりに照らされた屋台は、昼とは違った美しさで幻想的でした。

そして宵祭りの屋台は、安川通りから下一之町を下って屋台蔵に帰って行くとお聞きしていたので、下一之町の一角を陣取り、すべての屋台を見送ることができ、これまた、大変感動しました。

高山祭でもう一つ感動したのは、大きな屋台を方向転換するときの技です。実際に見るまでは、あんなに大きくて重いものをどうやって動かし、方向転換するのかなと思っていました。高山駅の東西の連絡通路には「匠通りの展示」があり、その中に、車輪の説明もありますが、「御所車」の説明の中には、「…全23基中3基ある三輪の屋台はすべて御所車を使用しています。」とありましたので、恥ずかしながら、屋台には、三輪と四輪があることを初めて知りました。



布袋台のからくり

そして四輪の屋台の車輪の説明には、「大板車」と「戻し車」がありますが、この「戻し車」の説明では、「装飾が多い屋台を傷つけないために取り付けられた5つ目の車輪です。普段は、屋台に格納され、曲がり角で方向転換をする時に取り出される小さな車輪です。狭い道が多い高山で考え出された独特の構造です。」と書かれていました。書かれている内容は理解できましたが、実際にどのように使用するのかは見当もつきませんでした。

ですので、祭り当日は、屋台が方向転換できる場所を狙って見学しました。三輪の屋台の方向転換は、車輪の大きさの差を活用して方向転換するのは何となく想像通りでした。四輪の屋台はどうするのかと思って見ていたら、先ず前輪側に屋台を浮かして、屋台の中で何か操作すると、補助輪的なものが出てきました。そして、三輪状態にして方向転換し、方向が定まると、また屋台の中に格納されました。なるほど、「戻し車」の説明どおりで感動しました。

そして、どの屋台も曳き手の皆さんが指示のとおり力を合わせて、同じ方向に向いている団結力にも感銘を受けました。



屋台の方向転換

屋台は、豪華絢爛な装飾だけではなく、細かい隅々まで凄い技術が搭載されているんだなあと改めて感動しました。

また、子供達の歌や、横笛の音が流れる中で、ゆっくりと町の中を巡っていく屋台の姿には大変癒されましたが、屋台を曳いている方、警護する方などは、朝早くから夜遅くまで大変お疲れさまでした。

おかげさまで、良い思い出ができました。

### 【飛驒法人会】

私のこれまでの仕事経験は、個人課税関係の仕事が主でした。署総務課長、副署長(個人課税担当)として法人会の皆様の活動を拝見させていただいておりましたが、飛驒法人会の皆様の会活動に対する取り組み姿勢、熱意等には、ただただ、頭が下がる思いです。

私が飛驒法人会の皆様と接したのは、着任のあいさつなどを除くと、女性部会の「税に関する絵はがきコンクール」の作品審査でした。

女性部会の方々と初めてお会いする機会でしたので、大変緊張していましたが、女性部会の方が中心となり、各学校に作品の募集依頼を行っていただき集まった作品の審査は初めての経験でしたので、非常に難しかったのが思い出されます。

そして、女性部会の皆様といえば、「新年研修会」とチャリティーオークションが印象的でした。あのバイタリティーが飛驒法人会のエンジンなのかと肌身を以て体感しました。

令和6年度の飛驒法人会は、岐阜県連の行事の中でも重要な役割を担っていました。

一つは、岐阜県下法人会青年部会協議会の主管として、飛驒法人会青年部会連絡協議会や事務局の皆様には、事前準備から当日の運営に至るまで、大変ご苦労があったことと思います。

協議会の中では、「『租税教育活動のこれから』～コロナ禍の前と後、変化とこれから～」というテーマで熱くグループディスカッションが行われましたが、令和6年度は19の小中学校で租税教室を行っていただきました。

今後とも、飛驒の将来を担う大事な子供たちに「税」をより身近に感じてもらいながら、正しい税知識を身に付けてもらえるように、引き続き租税教育、租税教室の実施に積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

もう一つは岐阜県下法人会運営研究会での研究発表会で「会員増強」をテーマとした取組とその発表でした。法人会にとって新規会員を増やしていくことは、会運営を行っていく上では大変重要なことでもあります。ただし、本業の傍らで行っていただいている勧誘活動は、非常に地道な活動の積み重ねになりますが、会員同士のつながりや、地域ごとのつながりは、様々な行事に参加させていただく度に根強いものを感じています。運営研究テーマとして取り組まれた「会員増強」の効果が表れ、新規会員を獲得し、更に魅力のある法人会になっていくことを祈念致しております。

以上、まとまりのない内容で書かさせていただきましたが、このほかにも高山での生活、飛驒法人会の皆様の活動では、忘れられないものがあります。

法人会の皆様へは私どもからは、いつもお願いすることばかりで恐縮ではございますが、微力ながら、ご協力できることもあろうかと思っておりますので、その際にはご相談いただければと思います。

最後になりますが、公益社団法人飛驒法人会の会員の皆様のご健勝とご事業の繁栄、そして、飛驒法人会の益々のご発展を心より祈念いたしまして、結びにさせていただきます。



飛驒法人会 役員の方々と

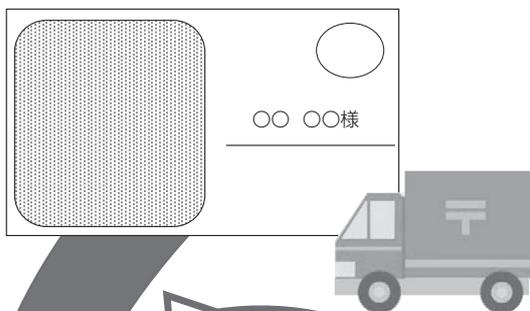
# 還付金の振込通知が e-Taxで受け取れます!!



## 対象となる方

- ✓ e-Taxにより申告・申請される方※
- ✓ 還付金を受け取られる方

※ID/PW方式による申告ではご利用になれません。



はがきから  
電子通知へ!



スマホやPCで  
確認できます!



## 振込通知イメージ

国税還付金振込通知書	
(住所) 〒12345	17
国税 太郎 (様)	
会社名 〇	国税の年度 〇
税務年次 〇.〇.〇	数字印 〇 ●● 税務署
通付金番号 〇〇〇〇〇〇〇〇	納付番号 〇〇〇〇〇〇〇
支払科目 源泉徴収 控除税	
発生事由 確定申告済 (個人)	
整理番号 〇〇〇〇〇〇〇〇	
振込先金融機関名 〇〇銀行 〇〇支店	
振込種別 普通預金	口座番号 12345678
振込手続開始年月日 〇.〇.〇	
支払金額 〇〇,〇〇〇 円	
内還付加算金 - 円	
上記の支払金額を振り込みました。	
届出人 〇 - 〇	
国税課長 〇〇	
国税署長 〇〇	
(届出番号) 〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇	

- 手続開始から入金まで、金融機関の休日を除き、4・5日程度要する場合があります。
- 金融機関等に誤りがある場合は、税務署にまで連絡してください。
- 還付加算金は「雑収入(雑所得)」として課税対象となります。
- 税務署を装った不審な電話・「振り込み詐欺」にご注意ください。

## メリット

- ✓ 書面より早く通知の受取が可能!
- ✓ 書面での保存が不要!
- ✓ スマホやPCでいつでもチェック可能!
- ✓ ダウンロードすれば、プリンタから印刷可能!



受取方法は次ページをご覧ください!!





## (公社)飛驒法人会 令和6年度 第3回理事会

●と き 令和7年2月21日(金) ●ところ 高山市民文化会館

令和6年度の第3回理事会が、大野高山税務署長、戸倉法人課税統括官らをご来賓に迎え理事26名、監事1名の出席により開催いたしました。

理事会では令和7年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)や萩原支部・小坂支部合併に伴う支部規程の一部改正、第13回定時総会の招集などについて審議されすべて原案どおり承認されました。

報告事項では2月の運営研究会の報告や公益法人に対して3年に1回実施される岐阜県の立ち入り検査が9月にあり、その指摘事項等について報告いたしました。



## 令和7年度 事業計画 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

公益社団法人飛驒法人会は、「法人会の基本的指針」が示す、よき経営者を目指すものの団体として、組織の充実強化を図りつつ、税務当局と協調して、インボイス制度や消費税期限内納税の推進をはじめe-Taxの拡大及びマイナンバー制度の定着に努め、税制改正提言活動、租税教室、税務研修会、会報誌・ホームページにより税知識の向上等を図り、会員の積極的な自己啓発を支援するとともに、一般市民にも各種事業への参加を求めるなど、企業経営及び地域社会の健全な発展実現に努める。

### I 公益目的事業

#### 1 税制改正に関する提言活動

税のオピニオンリーダーとしての立場を踏まえ、会員企業からのアンケート等を実施して税制等への真の声を聞き取り、当法人会としての意見として県連を通じて全法連へ報告し、纏まった提言書を地元選出国會議員及び首長等に要望するなどの提言活動を実施。

#### 2 租税教育等事業

- ① 租税教室…青年部会及び女性部会等による小・中学校での租税教室の開催
- ② 税に関する絵はがきコンクール作品募集事業の実施
- ③ 税を考える週間行事の協力
- ④ 税務研修会の開催(各支部ごと)

#### 3 広報等事業

広報誌・ホームページによる税情報の提供 法人会だよりの一般配布

4 社会貢献事業

- ① 講演会等の開催…一般市民にも参加案内
- ② 地域イベント協賛…地域団体等と共同実施
- ③ 社会福祉団体等への寄付等…寄付金、ボランティア活動の実施

II 会員支援事業

税務研修会や税に関する情報の提供、健康診断の実施、全法連が提供する福利厚生制度（保険会社3社へ委託）の推進。

令和7年度 収支予算

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	その他 会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	0	500	500
特定財産運用益	0	0	50	50
受取会費	4,600,000	3,500,000	4,600,000	12,700,000
事業収益	150,000	150,000	0	300,000
受取助成金	6,751,100		650,000	7,401,100
受取負担金	0	1,000,000	0	1,000,000
受取寄付金	100,000	0	0	100,000
雑収入	0	1,500,000	768,350	2,268,350
<b>経常収益合計</b>	<b>11,601,100</b>	<b>6,150,000</b>	<b>6,018,900</b>	<b>23,770,000</b>
(2)経常費用				
事業費	14,267,600	5,592,900	0	19,860,500
管理費	0	0	3,070,500	3,070,500
<b>経常費用合計</b>	<b>14,267,600</b>	<b>5,592,900</b>	<b>3,070,500</b>	<b>22,931,000</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-2,666,500</b>	<b>557,100</b>	<b>2,948,400</b>	<b>839,000</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1)経常外収益				
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2)経常外費用	0	0	0	0
<b>経常外費用計</b>				
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-2,666,500</b>	<b>557,100</b>	<b>2,948,400</b>	<b>839,000</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>-14,207,547</b>	<b>8,891,338</b>	<b>16,908,591</b>	<b>11,592,382</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>-16,874,047</b>	<b>9,448,438</b>	<b>19,856,991</b>	<b>12,431,382</b>
<b>II 正味財産期末残高</b>	<b>-16,874,047</b>	<b>9,448,438</b>	<b>19,856,991</b>	<b>12,431,382</b>

## 令和6年度 岐阜県下法人会運営研究会

●と き 令和7年2月13日(木) ●ところ 岐阜グランドホテル

法人会の活動状況や課題について研究し発表する、令和6年度岐阜県下法人会運営研究会が岐阜市で開催されました。

令和5年度に続き今年度も当飛驒法人会と岐阜北法人会が発表担当となっており、当法人会は昨年度と同じ「会員増強」～組織の強化を図り魅力ある飛驒法人会にするために～を研究テーマに、減少する会員の歯止めをかけ、飛驒法人会一丸となって会員増強に取り組んだ活動の内容の研究発表をおこないました。



県連会長あいさつ



発表の様子

## 第79回 東海法人会連合会大会

●と き 令和7年3月7日(金) ●ところ ホテル花水木

第79回東海法人会連合会大会が、湯下敦史 名古屋国税局長、伊藤徳宇 桑名市長をはじめ国税局、税務署の幹部職員を御来賓に迎え、三重県のホテル花水木で盛大に開催されました。

当日は式典に続き行われた研究発表では(公社)半田法人会は「どうする半田法人会 ～広げます活動の輪 つなげます次の世代へ～」、(公社)豊田法人会は「魅力ある法人会を目指して」、(一社)岐阜北法人会は「新たな時代の法人会活動はどうあるべきか ～会員増強と組織強化～」をテーマに、法人会が抱えている諸問題について、それぞれの取り組みについて発表がおこなわれ、今後の法人会活動に参考になる内容ばかりで大変有意義な大会でした。



東海法連会長あいさつ



会場の様子

## 企業の皆様

# 法人会 自主点検チェックシートを 活用していますか？

自主点検チェックシートを活用した場合には、「法人事業概況説明書」に  
(法人会 自主点検チェックシート) と記入することができます。

1. 平成 30 年 4 月 1 日以後終了事業年度分より「法人事業概況説明書」の様式が改訂され、〈表面〉に 8. (5)「社内監査」欄が新たに設けられました。

法人事業概況説明書 (F1004)

8. (5) 社内監査

「社内監査」欄には、各種チェックシート等を活用した社内監査実施の有無を記入します。

「法人会 自主点検チェックシート」を活用し、社内点検を実施した場合には、下記のように記入してください。

(5) 社内監査	実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
	(法人会 自主点検チェックシート)		

法人会 自主点検チェックシート (国税庁後援) は、企業自らが自主的に点検することにより、  
税務コンプライアンスの向上や、自社の成長、ひいては税務リスクの軽減に役立つものです。

まだ自主点検チェックシートに取り組まれていない  
経営者の皆様も、是非一度お試しください。

2. また、「法人事業概況説明書」〈裏面〉17. 「加入組合等の状況」の欄には、法人会の会員である旨および法人会での役職名を記入することができます。

17 加入組合等の状況

(記入例)

17 加入組合等の状況	○ ○ 法人会会員
	(役職名) (法人会役職名をご記入ください)
法人会の会員であることを ご記入ください。	

※上記「1」「2」ともe-taxを利用した場合でも入力することができます。



自主点検チェックシートは、法人会ホームページ「自主点検チェックシート」  
のコーナーからダウンロードできます。

また、同コーナーでは、使い方などをわかりやすく解説した「経営者のミカタ  
法人会自主点検チェックシート」を配信していますので、是非ご活用ください。

お問い合わせ先

 公益社団法人 飛驒法人会

電話番号 0577-34-2201  
または飛驒法人会HPをご覧ください

# 休憩室

## 「日本百名山に登る」

山口石油株式会社 山口 英徳

私が初めて登山をしたのは、10歳の小学4年生のときでした。岐阜県の御嶽山へ親戚のおじさんに連れて行ってもらい、標高3,000mを超える山でご来光を拝んだのが最初の経験です。

その後、標高2,000mを超えるような山にはしばらく登ることがなく、再び登山をしたのは2019年9月、日本一高い山である富士山でした。実に42年ぶりの登山でしたが、友人に誘われて急ごしらえの道具を揃え、体力づくりもせずに行ってしまったのが最悪でした。富士山の頂上までは何とか登り切りましたが、下山時には膝を痛め、体力も尽き果てて命からがら下山できましたが、危うく遭難するところでした。この経験から、もう登山は自分には無理だろうと思うようになりました。

しかし、そんな私が再び登山をするようになったのは、富士山の登山から3年後、友人に「また山に登らないか」と誘われたことがきっかけでした。

その時、訪れた場所で槍ヶ岳と鏡平の池をバックに撮影した写真がなんともきれいで、そこから登山の楽しさを肌で感じるようになりました。今では次にどの山に行こうかと考えるのが楽しくてワクワクするようになっています。

山の魅力は、月並みな言い方をすれば達成感にあります。さらに、山には高山植物が自生しており、季節ごとに美しい花々が登山道を彩ります。



鏡平池前から槍ヶ岳を望む

これも山ならではの魅力です。加えて、北アルプスではライチョウが生息し、その姿を見かけることがあります。

また、高山植物の群生地近くに山小屋が設けられていることも多く、自然と触れ合いながら快適に休息を取れる点も魅力です。これまで日帰り登山が多かった私ですが、奥穂高岳に登ったときには穂高山荘に1泊しました。山小屋での食事は予想を超える美味しさで、ボリュームも十分あり感動的でした。

また、山小屋から見た朝焼けは言葉にならないほど美しく、心に深く刻まれました。朝焼けを見て感動した後、隣の涸沢岳に登り、そこで最高の景色を撮影しました。山頂から見渡す景色は格別で、その瞬間をカメラに収められるのは、登山愛好家にとっての醍醐味です。



穂高山荘の夕食

道中では、自分でも「なぜこんなにしんどいことをやっているのだろう」と思うこともありますし、途中で引き返したくなることもあります。しかし、命の危険が迫るような状況でない限り、山頂からの景色を見たいという思いが湧いてきて頑張れるのです。そして、登山中に撮った写真を後で見返すのも楽しみのひとつです。あの難しい山に登れたんだと感慨に浸りながら、写真を眺めるのは最高の時間です。

また、登山はストレス発散にもなります。仕事の



ことを忘れて無心になって山に登ることができるからです。

ここで、表題にある「日本百名山」について紹介しておきます。日本百名山とは、文筆家であり登山家でもあった深田久弥が、日本各地の山の中から自ら定めた基準で選んだ名峰100座を収録した山岳随筆集およびそこで紹介された山々のことです。この百名山は、多くの登山愛好家にとって目標となる存在であり、私もその魅力に惹かれて登り続けています。

私がこれまでに登った百名山は、富士山(日本一の標高を誇り、ご来光が有名)、御嶽山(信仰の山であり、荘厳な風景が魅力)、焼岳(活火山特有の荒々しい景観が印象的)、伊吹山(花々が美しいことで知られる)、奥穂高岳(険しいルートが登山家を惹きつける)、常念岳(安定した登山道と美しい山容が特徴)です。

そして、登りかけて体力の限界が来て途中で引き返した山もあります。それが剣岳(2,999m)です。友人は笑いながら『大丈夫だって、危険箇所もあるけど準備すれば登れるさ』と励ましてくれました。しかし、私は急登を目の当たりにして不安が再燃しました。ユーチューブで危険箇所を調べ、ヘルメットも準備して挑んだものの、登り始めてすぐに『こりゃ無理だ』と思い、下山を考えました。そ

れでも、途中であまりにも情けなくなり、目標を山小屋(早月小屋、標高2,200m)に切り替えることで、どうにか前進することができました。最終的に下山するまで13時間かかり、体力的にも精神的にも限界を感じた経験となりました。

奥穂高岳(3,190m)では、隣の涸沢岳(3,110m)にも登り、頂上から槍ヶ岳方面を撮影しました。その景色は今でも心に残っており、再び訪れて良いカメラで撮影し直したいほど気に入っています。写真を引き伸ばして額縁に入れたいと思うほどの一枚で、いつか槍ヶ岳に登ってみたいという気持ちが湧いてきます。それだけでなく、以前引き返した剣岳への再挑戦も視野に入れています。

ただ、いまの体力と技術では難しいため、2~3年以内にやってみたいなあと考えています。挑戦していない山にも、未知の魅力や困難が待っていると考えると、ますます登山への意欲が湧いてきます。

今後の目標は、まず北アルプスの日本百名山15座を踏破することです。これを達成することで、日本百名山全体の目標にも一歩近づけると考えています。今年58歳を迎え、毎年5座ずつ登ったとしても達成には20年かかる計算ですが、特に標高3,000m級の山々が多い北アルプスは、体力が十分なうちに挑戦したいと思っています。

次なる挑戦に向けて、しっかりと準備を整え、北アルプスの15座を目標に、自然の雄大さを感じながら登山の楽しさをさらに深めていきたいと思えます。



## 事業所訪問

### 株式会社 下呂観光ホテル しょうげつ

#### 概 要

代 表 者：代表取締役 長坂 鏗哉  
所 在 地：岐阜県下呂市幸田1113  
創 業：昭和42年10月  
設 立：平成5年7月(しょうげつ開業)  
従 業 員 数：74名(パート含む)  
事 業 内 容：旅館業

#### 対 談

**ききて** 本日は女将の長坂正恵さんにはお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。早速ですが、会社の沿革などお聞かせいただければと思います。

**女 将** 旅館を営む家の長男に嫁いで10年間、子育てしながらホテルの裏方(事務など)として従事していたところ、主人の社長就任を機に「女将」になってはどうかとなり、何の知識のないまま名前だけ「女将」となりましたが、最初は何も分からず教えてもらえる環境もなく、日々悪戦苦闘しておりました。



女将(長坂 正恵さん)



**ききて** その後「しょうげつ」を開業することになるわけですね?そのきっかけはあったのですか?

**女 将** 女将としての10年の間にお客様と接する中、全国の先輩女将に出会い学びの中で、これまでのように団体客をこなすだけでいいのか? お客様お一人お一人の顔を見て対応出来ないか? と考え、旅館の老朽化も重なり、市街地から遠いことをマイナスでなくプラスに捉え、下呂温泉街を一望できる素晴らしい眺めの旅館での滞在を楽しんでいただき、個人客を大切にする旅館づくりをしたいとの思いが「しょうげつ」誕生のきっかけでしょうか。

**ききて** 現在の「下呂観光ホテル」を建て替えるのではなく別の場所に?

**女 将** はい、ホテルの山手に古くなり使用していない従業員用の寮があり、その敷地に地盤調査などして新たに建設しました。

**ききて** 「しょうげつ」の名前の由来は?

**女 将** 名称は一般公募をしました。沢山の応募の中から女性書道家の方が応募して下さった名前に決めました。今使っている文字はその書道家の方に書いていただいたものです。

漢字で書くと「翔月」なのですが「何と読むの?」の質問が多くひらがなにしました。

ききて 「しょうげつ」のこだわりを教えてください。

**女将** 旅館で仕事をしていながら、ラグジュアリーでプライバシー重視のホテルが好きでした。

このホテルの良さを何とか旅館の中に取り入れられないだろうか？少しずつ変化していく宿のあり方を昔のような宿屋に戻せないだろうか？男性中心の旅のあり方から女性だけでも旅ができる、女性向けの宿作りができなだろうか？

そんな思いの中、玄関では履き物を脱いでいただき、その時から非日常の中へ。あえてフロントを作らず、お客様の方へ伺ってチェックインしていただく。単一の浴衣をやめ何種類もの中から選べる浴衣に変え、アメニティの一つ一つにも拘り、お食事はあえてお部屋出しをやめ、料亭を作りそちらでお食事をしていただいている間にお布団を敷き、お客様のプライベート空間を邪魔しないよう配慮しています。

お客様の顔や様子を伺うことができ、合わせて適度な距離を保ちながら接客できるようにしております。お客様と付かず離れず、この距離感が心地いいとおっしゃっていただくお客様が多くいらっしゃいます。

ききて 日々の接客の中で思っていることは何かありますか？



**女将** 一度いらしていただいたお客様にまた来たいと思っていただくことが大切で、「ここに来るととてもおちつく」と言っていただけることがとても嬉しいです。

お客様の声を聴くことの重要さ、小さな事でも気に掛ける、そういったことを積み重ねる中で、お客様に育てていただいて今があると日々感謝しています。スタッフ自身が私が留守の時、「女将」だったらどうするかを考えながら行動に移していると話してくれたとき、とても頼もしく思いました。

旅館は「企業」でなく「家業」、スタッフも家族同様で、従業員全員お客様に幸せな一日を過ごしていただけるよう考えています。

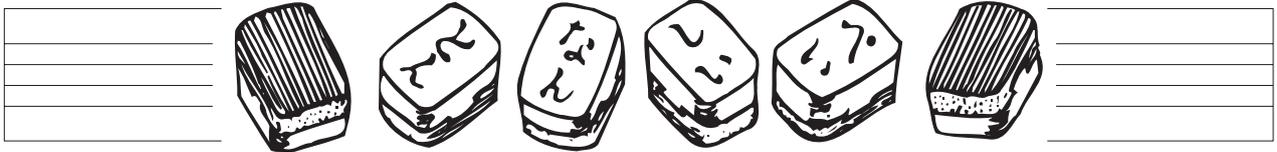
ききて 今日はお忙しい中貴重なお時間をいただきありがとうございます。

最後に今後に向けての思いがありましたらお聞かせ下さい。

**女将** 女将の仕事はマニュアルに出来るものではないので、お客様の幸せな一日を第一に考えて動けるように、女将の姿を見て育ってくれると嬉しいです。

お客様の求めているものが日々変化してきている中、子供達が自分達の世代に受け入れてもらえるものを作っていき事を邪魔しないよう見守っていきたいと思っています。

(ききて：Y・T)



## 萩原支部 元気な声で「ひなさま見しとくれ!」 ひな祭り伝統行事「がんどうち」

3月3日のひな祭り。萩原町の商店街では「ひなさま見しとくれ!」という元気な子どもたちの声が響きわたりました。当地域に昔から伝わる伝統的な行事「がんどうち」といわれるもので、「ひな祭り」に子どもたちが近所の家庭を訪ねお菓子をもらおうというものです。

今年の「ひな祭り」は平日の月曜日。当日は時折雪がちらつくような大変寒い日でしたが、子どもたちは学校が終わると早々に大きな袋を持って「がんどうち」にスタート。店舗や住宅の入り口で「ひなさま見しとくれ!」と声をあげ、ひな人形を見たあとに、用意されたお菓子をうれしそうにもらっていました。

おひな様とお菓子を前に、ただお菓子だけをもらうのも気が引けるのか、子どもながらにおひな様の感想を言う姿は、ほほえましく感じられました。

子どもにとっては「夢のような日!？」の、この「がんどうち」。地域と子どもたちのつながりが薄れていくような状況もある中、こういった伝統的な行事はいつまでも残ってほしいものです。(桂川 記)



お店のつるしびなの感想を!



しばらくはおやつに困りません!



肉屋さんではプライドチキンも!

## 下呂支部 下呂温泉街に新しい駐車場がオープン!!

令和7年3月1日より、旧下呂温泉病院リハビリ棟跡地(幸田地区)に75台(思いやり駐車場4台含)収容できる「市営下呂温泉第3駐車場」が供用開始となりました。

周辺にはドウダンツツジやカンツバキなどが植栽されていますし、観光案内看板も背景に馴染むような色合いに工夫され、景観を損なわないよう付近の環境に合わせて設計されています。駐車場内には下呂温泉をモチーフにした温泉マークの舗装など、随所に下呂温泉らしさが取り入れられ、清算はクレジットカード・電子マネー・QRコード決済等のキャッシュレス決済が対応可能となっております。



また、下呂市産材のヒノキを使用した公衆トイレ兼休憩所を併設しておりフリーWi-fiも完備しております。休憩所は市民の方にも気軽に利用していただけ、観光客とのふれあいの場にもなるでしょう。

下呂温泉街におきましてはかねてより駐車場の課題がありました。更に駐車場が増えたことにより訪れる観光客には満足していただき、観光の発展そして地域の方々にとっても活性化に繋がることを期待したいと思います。(千田 記)

## 小坂支部 被災から5年・根尾の滝吊り橋がようやく完成!

### 【根尾の滝】

飛騨小坂の「根尾の滝」は落差63mを誇り、「日本の滝100選」にも選ばれている名瀑です。輝石安山岩の巨大な岩壁を一気に流れ落ちるその雄大な姿は、江戸時代末期の書家であり画家でもあった<sup>ぬきなかいおく</sup>貫名海屋の水墨画にも描かれています。

### 【令和2年の豪雨】

令和2年7月の西日本豪雨により、飛騨小坂では国道41号線が崩壊するなど甚大な被害が発生。小坂の滝めぐりコースも、遊歩道や吊り橋などが崩壊し、「根尾の滝」へと続く道も大きな被害に見舞われました。

### 【根尾の滝 吊り橋・遊歩道復興プロジェクト】

遊歩道についてはNPO法人飛騨小坂200滝のスタッフの手によって復旧が進められてきましたが、吊り橋は手つかずの状態でした。しかし復旧の予算化が決定し、新たな吊り橋が完成しました。新しい橋は足場に木材を使用し景観をより引き立て、メンテナンスも地元のスタッフが行える構造です。200滝のスタッフも施行段階から積極的に参加し、多くの支援を得て完成しました。

### 【根尾の滝めぐり】

「根尾の滝」へと続く遊歩道では、サワグルミなどの原生林や、溶岩でできた巨大な岩壁「あまどり岩」を望むことができ、圧倒的な自然を肌で感じることができます。その他にも数多くの秘境の滝が存在し、滝めぐりは初心者から上級者まで幅広く楽しめます。(西本 記)



## 古川支部 名古屋音楽大学によるクラリネット・トランペット音楽合宿が開催されました

3月10～12日に名古屋音楽大学クラリネット音楽合宿、3月15～18日に名古屋音楽大学トランペット音楽合宿が飛騨市古川町にある音楽ホール「飛騨市文化交流センター」で開催されました。

名古屋音楽大学による飛騨市文化交流センターでの音楽合宿は平成30年より始まり、今回で7・8回目の開催を迎え、クラリネットを教える橋本眞介教授とトランペットを教える上田仁准教授を中心に合宿が行われております。今回の合宿では合わせて40名の学生・OBが参加され、両指導者のもと音楽技術の向上が行われました。



トランペットの合宿期間中である3月16日に行われた岐阜県立吉城高等学校吹奏楽部の定期演奏会には、トランペットを専攻する学生がゲスト出演するなど、飛騨地域の方との交流も行われました。

合宿最終日には合宿成果発表コンサートが無料で開催され、楽器紹介やソロ・アンサンブル演奏などが行われ、合宿成果を披露するだけでなく初めてコンサートを見る方でも楽しめる内容で、コンサートに来場された方を楽しませてくれました。(橋本 記)

## 青年部会だより

### 今年も青年部会メンバーによる租税教室を開催します

高山税務署管内の小学校36校のうち、飛騨法人会では青年部会メンバーが中心となり17校を担当します。

開催に先立ち3月19日には講師養成研修を行い、ベテラン講師、新人講師共々更なる内容の充実を図るべく研修に勤めました。

今年度の開催予定は下記のとおりです。



#### 令和7年度 租税教室開催予定一覧(飛騨法人会引受分)

	学校名	開催希望時期	担当支部
1	高山市立東小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
2	高山市立西小学校	令和7年 6月頃	高山支部青年部会
3	高山市立南小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
4	高山市立北小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
5	高山市立新宮小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
6	高山市立国府小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
7	高山市立丹生川小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
8	高山市立栃尾小学校	令和7年 7月～9月頃	高山支部青年部会
9	高山市立本郷小学校	令和7年 4月～6月頃	高山支部青年部会
10	下呂市立下呂小学校	令和7年 4月～7月頃	下呂支部青年部会
11	下呂市立萩原小学校	令和7年 7月～9月頃	萩原支部青年部会
12	下呂市立尾崎小学校	令和7年 4月～6月頃	小坂支部
13	下呂市立小坂小学校	令和7年 4月～6月頃	小坂支部
14	高山市立久々野小学校	令和7年 7月～9月頃	高山南支部青年部会
15	高山市立朝日小学校	令和7年 4月～6月頃	高山南支部青年部会
16	飛騨市古川小学校	令和7年 4月～6月頃	古川支部青年部会
17	飛騨市立神岡小学校	令和7年 4月～6月頃	神岡支部青年部会
18	高山市立北稜中学校	令和8年 2月頃	高山支部青年部会

### 岐阜県下法人会青年部会正副部会長会議

と き：令和7年3月21日(金) ところ：テラス中之郷(多治見市)

県下青年部会の正副部会長が多治見市で開催され、令和7年度の第48回県下法人会青年部会連絡協議会の開催概要について協議されました。

令和7年度は(一社)多治見法人会青年部会が主管となるため、国宝の建造物がある虎溪山

永保寺を会場に10月10日(金)に開催することが承認されました。

開催テーマは「健康こそが人・企業・地域の力」とし、各単位会から取り組み状況の報告後、座禅体験等を実施するなど心身とも健康となる内容で開催される予定です。

## 女性部会だより

### 新年研修会開催

と き：令和7年1月21日(火) ところ：洲さき

新年研修会を、高山税務署戸倉統括官を講師にお迎えし開催しました。税務研修会ののち、高山税務署大野署長さん始め、多くのご来賓をお招きし懇親会を催しました。今年は初めて岐阜県下の各法人会女性部会長さんへも参加を呼び掛け、岐阜北法人会の浅野部会長、岐阜南法人会の橋本副部会長お二人のご参加をいただきました。

恒例のチャリティーオークションでは多くの収益金、また災害義援金への寄付も募り、社会貢献活動の一環として、部会からの活動費も加え15万円を能登半島の地震・豪雨災害への義援金として寄付をしました。

### 岐阜県下法人会女性部会長会議

と き：令和7年3月12日(水) ところ：ホテルリソル岐阜

県下各单位会の女性部会長等が集まり会議が開かれました。議題は令和7年度開催の第44回岐阜県下法人会女性部会連絡協議会の内容について主管の(一社)大垣法人会女性部会より提案、説明があり、提案通り開催することとなりました。昨年同様部会員同士でのグループディスカッション形式にて開催されます。他女性部会の方々との貴重な交流の場となりますので楽しみにしています。

また、今回は役員改選期となるため部会長予定者の方の出席もあり、会議終了後、懇談会を開催し交流を図りました。



会議の様子

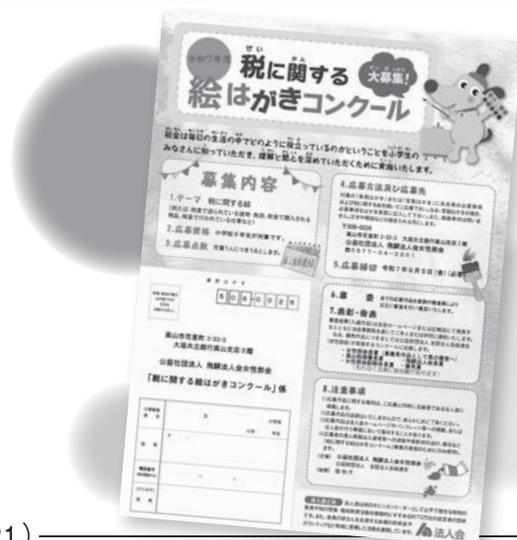
### 「税に関する絵はがきコンクール」の募集が始まります

今年で13年目となる「税に関する絵はがきコンクール」の作品募集が始まります。

地区内小学校36校すべての学校へ案内し、飛騨法人会青年部会や女性部会メンバーが講師として出向く「租税教室」では小学校6年生を対象に応募を呼び掛けます。

飛騨地域の作品審査で最優秀作品として選ばれた作品は、県の審査、東海地区の審査へと進みます。

多くの作品の応募をお待ちしています。





死亡保障  
高度障がい保障  
傷害後遺障がい保障  
傷害医療費用保障  
傷害休業保障  
入院保障

傷害通院保障  
疾病入院医療費用保障  
疾病入院療養一時金保障  
事業継続事業承継相談費用保障  
会社役員賠償責任保障

難攻不落

経営者さまを取りまくリスクは一つではありません。  
多くのリスクに対応するためにはいくつもの保障が必要です。  
重責を担う経営者さまを守る、  
数々の安心を一つにまとめた総合保障をぜひお役立てください。

※保障の組み合わせには、所定の制限があります。保障内容について、詳しくは「設計書[契約概要]」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。



法人会会員のみなさまに

経営者大型総合保障制度  
企業保障プラン **総合型V** + **一時金型Mタイプ**

(大同生命の定期保険+AIG損保のベーシック傷害保険)

*Premium*

(大同生命の無配当入院一時金保険)

◎大同生命の商品の正式名称は次のとおりです。

**総合型V**: 大同生命の無配当年満期定期保険(無解約払戻金型) または 大同生命の無配当歳満期定期保険(解約払戻金抑制割合指定型)

**Mタイプ**: 大同生命の無配当入院一時金保険(無解約払戻金型)

**DJIDO** 大同生命保険株式会社

岐阜支社/  
岐阜県岐阜市吉野町6-16(大同生命・廣瀬ビル5F)  
TEL 058-262-5141

**AIG** AIG損害保険株式会社

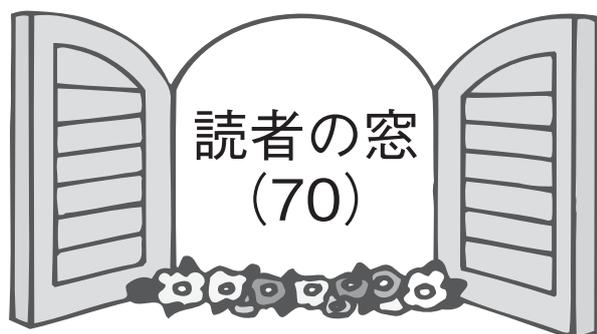
岐阜支店/  
岐阜県岐阜市泉町41  
TEL 058-262-4771

◎この資料は2023年6月現在の商品内容に基づいて記載しており、将来変更となることがあります。

◎この制度は、法人会の会員のみご加入いただける制度です。ご加入後に法人会を退会された場合は、保険料の引き上げや損害保険部分の解約等のお取扱いとなることがあります。

◎この広告は、保険商品の内容のすべてが記載されているものではありません。ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書[契約概要]」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。また、ご不明の点などございましたら、引受保険会社または取扱者にお問い合わせください。

F-2023-0010 (2023年5月19日) 23-073005 2023-05



このコーナーは、読者の皆さんのコーナーです。  
税金への色々な主張・ご意見・アイデア・気の利いた写真等を広く会員のみな様より投稿していただきたく、多くの投稿をお待ちしています。  
投稿は(公社)飛騨法人会まで、FAX・Eメールにてお願いします。

F A X 0577-33-1093

E-mail hidahojn@siren.ocn.ne.jp

## インボイス制度と令和の米騒動が重なる米流通の混乱

高山市 50代 男性

令和6年夏の「令和の米騒動」を発端に令和6年産米の価格が高騰、現時点で前年比1.8倍という価格上昇となり社会問題化し、米の流通環境が大きく揺れています。

その原因の一つに令和5年10月から始まったインボイス制度があります。農林業センサスによると、日本の米農家の約9割が免税事業者であり、サラリーマン兼業農家でもあります。これらの農家から米を仕入れると仕入税額控除ができません。ただし、農協を通じた取引には特例が設けられ、農協が農家から買い取る場合は農家が免税事業者であっても仕入税額控除が可能となります。農協に売れば多くの農家は免税事業者のままでも従来通りという論法です。しかし、一般米集荷事業者が仕入税額控除関係なしに米を集めたため農協に米が集まらず、更なる価格高騰に拍車がかかりました。

この状況下で農林水産省は政府備蓄米を放出しましたが、市場関係者からは「不足分を補うだけで価格低下は期待できない」との声も上がっています。米の取引における税務面での新たな課題に直面しています。

今後、日本の食料安全保障の要である米の安定供給のために、生産者・流通業者・行政が一体となった取り組みが必要です。

## 国の舵取りは…

高山市 40代 男性

公共サービスは、資源配分が原則である。つまりは、集まった税収から出来ることを分配するのが基本になっている。ところが現実はと言うと、既存の公共サービスを維持するための財源が足りなくなっていることから、それらのサービスを維持するために、増税。ところが増えた財源で、別事業を展開。またもや維持が難しくなる。そして増税を検討…。これでは、いくら増税により財源を確保したとしても、足らなくなるのは一目瞭然ではないだろうか。

国民生活を豊かにするためであるはずの公共サービスが、増税によって逆に生活負担を強いる結果になっているようでは本末転倒というもの。この国の舵取りは、このことに気づいていないのだろうか。なぜ一般国民の目線で、物事を検討しないのだろうか。

現在の最大政党に投票した人の大半が、政策やマニフェストをまったく見ずに投票しているのだという。それが一体何を意味するのか。過去の経緯からの消去法でしか選んでいないのではないのか。

歪な人口分布により、若年層の投票率がどれだけあがっても、高齢層投票数には太刀打ちできない。結果、高齢層向けのサービスが充実し、子育て世代をはじめとした若年層へのそれは手薄に。若年層の投票率が低いことも大きな問題ではあるのだが…

とは言え、何もかもが一般の感覚とずれた舵取りで、我々国民に取りつく鳥はあるのだろうか…。

## 令和7年度(第13回) (公社)飛驒法人会定時総会

令和7年度(第13回)の定時総会を下記のとおり開催いたします。  
会員の皆さまにはすでにご案内しておりますが、たくさんの方のご出席をいただきますようよろしくお願いいたします。

決算書類につきましては、5月8日以降にホームページに掲載いたしますが、紙面での書類をご希望の方は事務局までご連絡ください。

と き 令和7年5月27日(火) 午後4時

ところ 高山グリーンホテル

※総会終了後懇親会を開催いたします。



### 編集 後記

■大野税務署長が「高山での経験」と題して寄稿していただきました。飛驒を満喫していただき、私たち飛驒に住んでいる者では感じられないことも見つけられています。この体験を全国にPRしてもらえるとありがたいです。



■今年は、戦後80年の節目ですが、世界の情勢は先の大戦を忘れたかのように協調から分断の様相です。ウクライナ、ガザ地区、直近ではアメリカのトランプ大統領の関税圧力等があります。私たちの税金の使われ方もその変化に大きく関わってきます。平和は税の使われ方を最も効率よくするものだと思います。

■今回の表紙は、新酒ができたことを祝う「雫宮祭」で22回目となり祭として定着してきました。また、「とんなんしいべい」では、毎回飛驒地区を元気にする行事が取り上げられています。私たちが元気になり、楽しい行事が今後も続いていくといいと思います。

■「法人会だより」の本年度発行予定は、4月、8月、来年1月の3回です。タイムリーな表紙の写真、読者の窓、その他の情報等がありましたら是非投稿をお願いします。(H.S)

令和7年4月 公益社団法人 飛驒法人会 広報委員会

住 宏 夫 長瀬 栄二郎 下畑 了三 水口 邦博 河合 正博 千田 純弘  
桂川 卓也 西本 勝 青木 晋之介 山下 真弘 追分 英輔 村井 智子  
富川 由希子 田中 英子